

群馬県の道路の長さは全国8位

- 2016年度の道路統計調査によれば、群馬県の道路（道路法に定められた高速自動車国道、一般国道、都道府県道、市町村道）の実延長^(注1)は全国8位の約3万5000キロメートルである（図表1）。また、歩道が設置された道路の実延長は全国18位の約3200キロメートルである（図表2）。
- 長さでは全国上位に位置する群馬県だが、道路実延長のうち歩道が設置されている割合は9.2%と43位にとどまっている（図表3）。道路には、歩道の設置を想定していない高速自動車国道や、地形や状況等から歩道の設置が適さない道路等が含まれ、都道府県によってそれらの割合も異なることから一概に比較はできないものの、全国平均の14.5%を下回る状況である。
- 群馬県は、社会資本整備計画である「はばたけ群馬・県土整備プラン2013-2022」の中で、通学路の歩道整備や歩道のバリアフリー化を進めるとしている。2016年度末の実績では、通学路の歩道整備率は84.2%、歩道のバリアフリー化率^(注2)は59.4%となっており、県はその動向について「前進（目標値の達成に向け順調に進捗している）」としている（「はばたけ群馬・県土整備プラン」フォローアップ委員会資料）。

図表1 道路の実延長
(2016年度)

順位	都道府県名	実延長(km)
1	北海道	84,723
2	茨城県	55,939
3	長野県	48,002
4	愛知県	43,964
5	埼玉県	42,952
6	福島県	39,173
7	千葉県	37,313
8	群馬県	35,035
9	岩手県	33,410
(中略)		
45	香川県	10,290
46	鳥取県	8,870
47	沖縄県	8,145
	全国計	1,222,319

資料：国土交通省「道路統計調査」より当所作成

図表2 歩道設置道路の実延長
(2016年度)

順位	都道府県名	歩道設置道路 実延長(km)
1	北海道	19,030
2	愛知県	6,581
3	茨城県	6,158
4	東京都	5,953
5	埼玉県	5,745
(中略)		
17	広島県	3,307
18	群馬県	3,228
19	静岡県	3,139
(中略)		
45	山梨県	1,344
46	和歌山県	1,244
47	徳島県	1,017
	全国計	177,818

図表3 歩道設置道路の割合
(2016年度)

順位	都道府県名	歩道設置道路 の割合(%)*
1	沖縄県	30.7
2	東京都	24.6
3	北海道	22.5
4	大阪府	21.6
5	山形県	18.2
6	神奈川県	18.2
(中略)		
42	三重県	10.3
43	群馬県	9.2
44	和歌山県	9.1
45	長野県	7.7
46	岡山県	7.5
47	徳島県	6.7
	全国平均	14.5

*歩道設置道路の割合(%)
=歩道設置道路実延長÷道路実延長×100

(注1) 実延長

①実延長とは、「総延長（道路法の規定に基づき指定又は認定された路線の全延長）」から、「重用延長（上級の路線に重複している区間の延長）」、「未供用延長（路線の認定の告示がなされているが、まだ供用開始の告示がなされていない区間の延長）」、「渡船延長（海上、河川、湖沼部分で渡船施設があり、道路法の規定に基づき供用開始されている区間の延長）」を除いた延長のことである。

②福島県は、東日本大震災の影響により2016年度の最新データになっていない部分がある。

(注2) 歩道のバリアフリー化率

群馬県は、「安全で安心して利用できる道路空間とするため、幅0.75メートル以上の歩道を対象として、フラットまたはセミフラット形式かつ幅2.00メートル以上の歩道が確保された延長の割合」を「歩道のバリアフリー化率」としている（「はばたけ群馬・県土整備プラン」フォローアップ委員会資料）。

(担当：寺谷明佳)